

研修名	専門課程 河川施設〔設計・保全〕 〔平成24～25年度 河川構造物 / 昭和40～平成23年度 A. コンクリート構造物設計, B. 河道・河川堤防構造物設計の2コースに分割実施(昭和40年度開始)〕					
目的・重点事項	河川堤防や樋門等の河川管理施設の設計及び保全(維持管理及び補修・補強等)に関する専門知識を修得させ、新技術等を活用した施設設計や急速に進む施設の老朽化に対しても、適切に対応できる人材を育成することを目的とする。 以下の各点を重点項目とする。 ① 堤防設計・施設設計のための専門知識の修得 ② 維持管理や環境を考慮した施設設計のための専門知識の修得 ③ 新技術を活用した施設設計・施設保全のための専門知識の修得 ④ 施設の点検・診断・評価に関する専門知識の修得					
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、中核市又は独立行政法人等の技術系職員で、河川の計画・設計・管理に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 係長又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者					
定員(人)	国土交通省	他省庁	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	27	1	20	2		50
研修期間	60.0時間 12日間 設計コース 29.5時間 5日間 保全コース 30.5時間 5日間			平成29年12月4日(月)～ 平成29年12月15日(金) 設計コース 平成29年12月4日(月)～ 平成29年12月8日(金) 保全コース 平成29年12月11日(月)～ 平成29年12月15日(金)		
カリキュラム内容(予定時間)	1. 基本科目 ① 設計コース 河川行政の現状と課題、洪水の水利と河川構造物の設計法(4.5) ② 保全コース これからの施設管理のあり方等、河川構造物の点検について(3.0) 2. 専門科目・関連科目 ① 設計コース 堤防の設計及び管理実務、護岸・水制・河川横断工作物の設計概論、耐震設計、樋門の設計、堰の設計、仮設構造物の設計と施工、景観デザイン論(12.5) ② 保全コース 堤防補強・堤防強化対策、構造物周辺堤防の空洞化対策、コンクリート構造物の維持管理と補修・補強、河川構造物の戦略的維持管理、河川コンクリート構造物の維持管理の実例、機械設備のアセットマネジメント(10.5) 3. 課題研究 ① 設計コース 堤防設計のソフトを使用した堤防設計演習(講義を含む)と全体討議(11.5) ② 保全コース 施設点検結果報告に対する評価と対策案の策定、全体討議(9.0) 4. 現場実習: 保全コース(7.0)(昨年度: 多摩川、河川構造物の点検・評価実習) 5. その他: 設計コース(1.0) 入校式、オリエンテーション、ガイダンス : 保全コース(1.0) 修了式、オリエンテーション、ガイダンス <div style="text-align: right;">計 60.0</div>					
前年度からの主な変更点	・名称変更(河川施設〔設計・保全コース〕→河川施設〔設計・保全〕)					
担当	建設部 建設第一科 (TEL: 042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定) 設計・保全コース: 42,000円 設計コース: 30,000円・保全コース: 12,000円					